

事業名：江別麦の会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 明日につながる産業の振興							
施策	01 都市型農業の推進							
基本事業	04 農畜産物の付加価値化							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別麦の会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別麦の会を円滑に運営する	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
江別麦の会の活動活発化	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	会員数	人	46	46	42	44
対象指標2						
活動指標1	視察等対応件数	件	3	8	13	8
活動指標2	会合回数	回	1	1	0	1
成果指標1	会が主催する事業数+他団体の事業への参加数	回	1	3	2	1
成果指標2	事業の一般参加者数	人	0	350	0	5,000
事業費(A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	1,563	2,347
総事業費(A+B)		千円	2,408	2,405	1,563	2,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 総会運営 視察等対応 （仮称）小麦フェスタ発起人会準備 	<ul style="list-style-type: none"> 人件費のみ

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成10年の「焼き菓子コンペ」実行委員会が、地元産小麦の生産・消費振興活動を継続するため江別麦の会を結成した。	
事業を取り巻く環境変化	
春まき小麦「ハルユタカ」が全国的に認められ、会の活動も注目されている。また、江別経済ネットワークなど他団体との交流が活発になっている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由根拠 農業振興政策の一環として市の参加は妥当である。また、市の参加は異業種間の連携促進や報道機関への情報提供が容易となるなど、地域産業のコーディネーターとしての役割を持っている。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠 ブランド化支援事業等と連携することにより、上位事業に大きく貢献する。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠 春まき小麦「ハルユタカ」が全国的に認められ、会の活動も注目されている。平成20年度においては、これまでの会の活動が認められ、数々の賞を受賞した。また毎年多くの視察・講演等により成果を国内外に広めている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠 会の活動を継続することによって、広く生産者や市民に会の目的が周知され、麦の会参加者や主催事業の集客力が增加する。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由根拠 本事業は麦の会の運営、および事業による人的交流の活発化を目的としており、人件費削減の考え方はなじまない。